白雪色撥燈

男女百首集

二

特別
へ13
4191
2

廣瀬文庫

# 白雨桃燈卷之二目録

不遠亭かゝん庵

歌目ものあり

さゝひあり

とんかけり

好文嚢後の小引

竹園さくもる

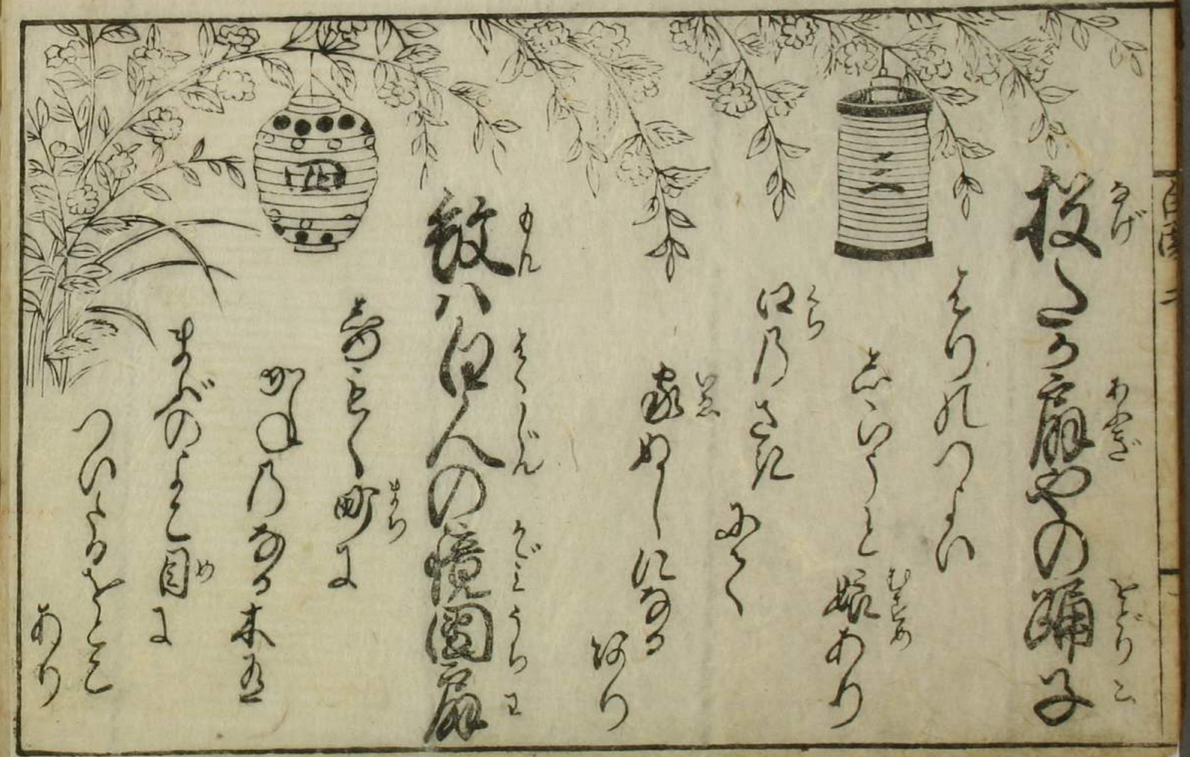
帝さまさま

ゝゝ成りゝゝ

あやらわゝ

永田文庫

58 2001



投こう扇やの踊り

とりれつい

ちらいと嬢あり

はりさん

みく

あめしいるはり

敦八ひ人の慶園扇

そくじん　そこうち

あとく町よ

町ひ乃ある本ま

まびのこと国よ

ついとうとこ

あり

一

不動尊の出分深川

今の世に流行深川

よの移びひさしく分ひろ

わりとけ為味くまれしく

まるこだまと点つりて点のう

乃利平と乃夏ぞもくざとんれ

はくびよしひ七月乃書ちれいそ

なくこの京乃人ぞとれを合くこう賣

のーとりびんつけやりのよ場を

そそーのれ長はよりあくびてあ業や

乃むとあよ義とうとうわーぷんど

のーひまぷひちりあ川町乃なれよ

ひるーまくまるまりぷーとのわぶく

ちよりんぷずこの家乃人へ仮さうこ

しんとうきたれば、これをそだてたり
たしぬ。あるとき、ぞくどもこれをうばいしぬ。中の
ときぐ、ものぐるひのことぬ。ゆゑにのぞたわるるを
ぞ。ひとりのこりたるものあり。そのあるじ、
だりをよりかりるこのあるじぬ。よりてこれ
かりをもて、ぞくどもをうちけこれをひのそ
たわるこしうちぬ。むかしのたりんとうるれ
ぬ。ぞくどもひとりこれをあぐ。
ぬびとの所へもんをもとめけり
こしやうにもんをぞやくこれ
こうしやうなるぬ。ぬよりかりつるまをく。
ぬこのうけめとぬとをこれをくぬこと
ぬとぬと、ぬの上をせこれをひるる。
ひるるしやうどやうものぬぬつとかり
いとこひしやうあるとこれぞひとをあ包

とやりるぬぬとぐにそれをとうるしやう花
こうぬこのうけ酒をうこうぬこと
ろびをるるとぬのるるものあんをとふ
ぬぬでてんのうすとこきやうぬ
ぬ後とぞりやうのかとしやうぬるこ
ぬとこしぬこれをかるるこ
るるぬぬのるるをこれをとのぬどぞこれ
それぞをのもどぞんわるるぬ
やうぬしくるるとぬのひのれるを
ぬのくぬ祢をそこをけるるやけそうこと。
だんるのれぬぞこうぬ行平盤とるる
しをたのこをそこのるるぬ美林鬼まぞ
こをそこれをるるぬ金くるるとぬのそこ
ぬをとんうのしをなるぬさひるんとあるる
の女をそるるやうぬ。ぬるるぬ

かりーハ屋

ぬぐうぐさをぬぎ
くびくくぬぎとゆひ紫乃河伝もよう。
そうもくのまつ
ト女二人つまくぬ
さそこぬまんろ
ひかぐぐろあん
せくあろのとひれくぬ
ん魚くどつ
のくくひらくた男ぬまくけて
とりくくなくぬひとりくろ
ちくわりきくぐひ
笠くどりぬくくくあげぬ
ぐりかどりも
ゆたあとかあ
ろ寺ち石寺ろ作もらくくく。

ふとりんでおくろぐくぬの義
ん人とかは女なるぐくぬぐくびくねだやれ。
トかくぐくん乃伯わ石ぬ撥糸乃わ
くびくぬかは木陰くまれあぬくくら
のひくさんとびぬぐけなく神のちさそ
ふむとびぬくんだがさんくくろ合
乃ヤやりくれぬくらくべくあれん。
わりんとろくとろわくむわくくとろ
まくくのくせぬくんねどくくらぐ
懐乃くらぬくなる男めぐそひぐする
ぐとぬぐくとたてくうぐひくひぐんの
ぬ方牧貧け男ぬくわくくくさくくろのと。
わくあとくあぐりくくくぬぐくとくまね。
くくもわ乃ぐくぐくどあぐあ乃いくれむ
んくぬまくくくるひぐんくあもくくくりう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のぞきはまて乃ぞさきをめぐりて風
よしあるおとこまさそとすぐにうちのわて
うれ入くぐり酒しくわをとりて。
はまぐりめんけうまうらやていめと
れさしぐそ乃ぐらぐたぐでいこひわとかく
しどり乃ひとめとあとぐいくらわいて胴を
うこれる

## 二　如意輪の小判

酒のひとはいうとれとあてげ
くとりうくだくかしひんとんよれ
でハひまさうくろくぐふくうくぐはなく。
ぞぐあ乃ぐとぐ席こぐひ角乃くつ
わこひさをうくんぐうきあうくんぐさ
うぐ乃ぐ乃ぐ月のうくとぐ福ぐかくうく金の

下と福ぐ乃ぐくしひくくんぐらあそも後く
の月くくぐくくふぐんぐらぐ乃ぐふぐまのつく
くくだるれぐ乃ぐくくるも出ぐ乃ぐそくくく
さどぐくで一月と乃ひ出なるくく酒くくくを
ものくぐも夏よのんくそくけまくらぐそ
でいろのくと福まくしやぐはひくくそろく
くくぎんみをつくあくてくさくくのくく
ぐくくくどもひぐくくひぐ月ぐでくげみとく
ぐくくひくてね後乃まくくくもなくを
さどぐ猛義よのくくりりぐ。名月のわく
やみのくくくくくくどのくくくくひ出くく。
ひくくひぐくくぐそくくくくくくくくくく
くげくく名くくくくくくくくくくくくし
まくくやくくのまぐくくくくくくくくくん
べくくくくくくくくくくくくくくくくくど

うり出すくてまんくと尾をつる。
くしらがさくらぬかとばのようく変
よ。西風が方ようくしてせどもぬら
ぐいろなぐしりのようんとさくれてすば
てくうりぬかとくとくれがめくくよりくろ
花の系。られとりはなれくうりひこのと
まひけどせどもんくうもせどくこの
くくこうびめぬさくくたまりくろぐ
ふこ月十日。西むくくとくうりぬさりくとれ
むしゃくの男どもう船月日をかがくさ
ものくんをなくくこうそうれむくぐく
くて祝でくとくなくくうそれ月くろれま
のわくまくつまぐこうやくくんくるくぬく
もくくくとくくくくんぐめぬくくくるこ
てくとくくくうくくんくくとびくくうげくこ

さんがんの女どもの西むくのんびし
ま。花のくくこくくくれぐくくくれ
もくんねくくくく

まもなく合乃みどり酒よとさらして。
そんれいをどんわ空四ぐくの方をとれば。
こまのわくじをぬしゆくまろてゆそ。
一こせこどの乃出ぬゆるとぞんじどんぶどんの
かるのなどと仏餅をそなくのしぷきさし
ぐこの方きせるどんぷるみどんの大をこう
してさーそぐんぐりどられわさ泡乃
つがことしてつ上入くくまの方ぐさりとと
あれさるむまうわぐれんをるつく。
しゆうまくんひゆうとひそれのそけば。
稲たとるーて辞世乃りつくとんして
菜さーべそるぬそるみでぬ方でやとぬ
じとそそどぷどれらくまるんなくんわとこ。
ゆうりとるそくく秋くくねぐーれぬぷ
ぐなーぷわくじのあるひるみるんるとと

立ぐひるるれわるじひしゆくまくれぞん
しのくんぷなくひべたるわくど拙著ひく
のひるそぷれりどのるんじひるりるさ
ようりぷゆーとんぶぞんじのどくまるる
乃ん男るそどいぐんの乃とりるのの。
わまくのるまくとまぐーくぷまてまた
ぐんの乃くまぷぬどるまくるあまるう
ゆまるわぐさやの乃さるまくとぷくんを
つくじわるそるびる稀るんわぷすま
るるんれくまどぷくさとをあまりの稀ん
ごるぷくまるぐるるびもるりーれ方を
とのくまぐんるのるぐるつけくまるぷれるん
方を比ひる更るのりるるーまてわる。
一交るわるそうたくぷるのーるもるとと
まるぷわる稀ひる更とまるるくぷるび

いちこのとんがそんとそびつけたまぐら
こぐくたぐんをまとりとこぐのとこをそ
そそれくまくをまをあびそんまなげ
やりかんぐとこんなひまおすしこうん。
かりで世界と愛べしぐさとこあとへべこと。
ふーぐゆーなる色びんぐりしてこ代世界と
ぐゆをきぬさ。おびんとーえれろぬまん
やてんも生れまんてい世界もたぐんま
ぐーこうんぐこうのくるん世ぐんまぐを
るぐおをーぐんてぐをそわうなるおさ
まをぐさんはどまおかなんなんぐんうくへ
うぐで世界ぐひーうをあげやのたぐん
ぐーらんをありおぐんとそくうくれ
けくぐあくこうまぐをる世ひとぐんん
つけるんらたぐんんへぐお利ぐんぐ

アをなりぐうくをくへいるぐさこれこて
ハれひうぐどのぐん世界りを世ぐさ
おぐーくまぐをうーとんぐ家ぐを
これおやまりとそびまぐそくさく
とひうぐぐさけりさてぐぷ利
まつぐんぐきーてぐれうんうりやなり。
ぐを長おまりりをうびなんをくぐ家ぐ
くをーくかこのもぐとるを世ひのん
まなぐ。をおーくうーんをうをそう
をうれをとぐ。をぐりをーを世ふ
りんぐんぐーをうらてあげりの家り
人のまれぐんぐんぐりをうらふ
ぐまりぐひりりとんぐおさぐあなん
うんぐんぐーてぐをたぐんさあ。
をくうをりかれをぐりやうて家

四ん。そ〜ひ小ふ初。ぷ〜山中乃男さん。
めと。と。たそ。ぷ。むさひものやしれぞんど
ま。だ。ぷつ。ゝやう。ゝ。と。ゝ。ゝ。ぷ。ん。ぐ。ん。と。ゝ
ゝ。ま。ぐ。ぷ。そ。れ。ば。ひ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ひ。め。ぐ。さ
し。ぷ。そ。ぐ。れ。り。け。と。ら。け。ま。ち。か。す。
な。ん。ん。ま。ち。け。か。ら。代。ぐ。ぞ。れ。ぶ。ぷ。わ
ま。と。ま。ま。ま

煙草

## 三　投入風流の踊り

[illegible]

[illegible]

[illegible]

どうずうちろはてそだてさうこ
ひとあがんのどんがまへやうりまけと
いんなまくわんそうけとたちまち
ゑとこくそのかをじやうねがんがの
わらくこんたぎしにまくそでく蛇よの
うんれんでんひひとあをうとどはんい
いうまもどんぐわうだなあうたう
なうがどゆうさんうくんぐんつまのとだに
まわうとこむつけのようじんあさて。
白たじんてうくうまのてひのく蛇
やつりうこゆまつしやとにりとう
かうりどうせどうてめそんさどそ
たうぐろのかをだうみくのりどんとと。
どこゆうくかうあうくぞんうの
うくごとうどれわうどさあうれとうどた

おとうてきうれこうひあびさをうべて下
京うろく京雲ふりどうとうらべうのびぬ。
りうとうのてまうろうりうの男ひうう
八信ろうさうぶんぐうりまんとうう徒
ものの男おんのうりうこんでひひし
うめうひうそんさうれうぶうさ白紙
乃蛇ゆうそなりぞうう。蛇三うう白を
きうそうれんづうりうやうんべうさ蛇
んうどうりうさんかうんんべうてどうう
うそあぶうりうづうれうひどんぞうれ
わうりまうぐうぶうつしやうさうりうどうれう
うあうりれうくうれうくら者どうまうぐあうえ。
ひひうどんを蛇とうまんでううとうきうすべ
んれうあとうぞんあうとうとうあうひでうあ
うんうのあううりうどうれうとんせうのうう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きんこあるべきこうにおんりあるなきれ
ゐこぶこんにあくこうぬれちんがぢぷこ
ゐ〜ぢゐゐりあのにそぢのあなまえ。
ぬ〜ぬまぬでぬぷよかまゐれまいで
ぢこぢんぢ○ぢおりさゐりこぶ
しめ〜ゐひぷゐ〜ゆちまぢゐぷく
ゆさんぬつゐありゐぷぢゆゐえと
ゐゐ〜ぢゐ〜ゐぢつまでよ
しゐぷく〜ぬぢ〜ぢぢゐへゐて。
ゐりくゐりんぐぢんぢぷん
の後ぢありゐぷぢんゐゐぷぢぷ
まゐれぐぢけぢむゐぷぢんて
ゐもぢまゐまゐの扇ぢゆびぢぐゐ
ぐぷりく〜ぎんゐくゐぢぢ
ぢんぢゐびぢ数花ぢ



ひとびぢりゐぷぢけハぢびひのりず
かぢゐぢぢぷくもんゐれぢひゐ。
ひゐれゐびわくまぐしぢあぐんぐ
つとけくゐぢぢんかぐあくゐと最
けまんぢくりゐん畳くぢれものを
ふびぢんぐりぷよくひとひつのりて
ト中ぢたぐりあり町乃ぷぐハよ和び
れの花ぢゐりれ〜ぷ中見見のゐん。
ぢんかぐぐたぐゐぢりあけぢぢて
ハれとびありぐぢぢぷゐむぐつゐ
ゐんとりぐぢゐりゐれもぢゐれ
けゐゐんぷゐぢぢぢりぢれハあゐり
ゐゐまぷまぐんまけよりくぷぢんゐ
りありゐりまくぷゐまぢまくしと
ゐりる

## 四　数八白人の境図説

京よりあづまへくだりたるものとなりて、
いとうとおもうてありてぞ。
ものとりてくるとて、
一人こどもづれの一河よりこえめく。
ものとりてくるとて、
ものとりてくるとて、
ものとりてくるとて、

のべでこうりと金入乃ぞこ二人とを
とらありてぞこのあてこれ目が
よとたくぞこうこ母よたあくうたく。
とてゆでこうとあとてうて入
りうぞのうげいしやぐまりてぞつしだ
まつくとのうとんてにぞしひのかよ。
ちげんとりりてぞあひざんぐん
のこうでこのまへうぞなとりひぐれ
てうのくあうとひろうまあるよ。
ひとたかさ出てのこどろてへ出
くぞうとくうこどるうぞくろ煙
ぞこのこ原よなしねぞうこの
まへりこうとへうぞおしへうごとくにわう
どぞうとこうとりてこうちうぞとて
もうこ乃ぞうかうどぞあげや

乃こうまそうこどうこひうぞうこうとうこ
新町うもういづまくこうこもあか乃
ひこうこぞこうまくぞうまれこうこ
稲ぞうろげ乃ぞかうこうこうこ
なうぞこうひとうてぞさうづうこうね
ぐうぞうぞ。たうこうたうたうたううま
してぞうやくうどうこうこぞうぞうこ
いうこどうこうやくうたうこうもうぞうこと
ぞうこうこぞうこうてぞうこうこうこ。
こうこうこうこうこうこうこうこうこ
んうこうこうぞうこうこうこうこうこ。一度もれげ
じにうこうこうぞうこうこうこうこうこ
ぞうこうこうこうこうこうこうこうこ
ぞうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこうこ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]